

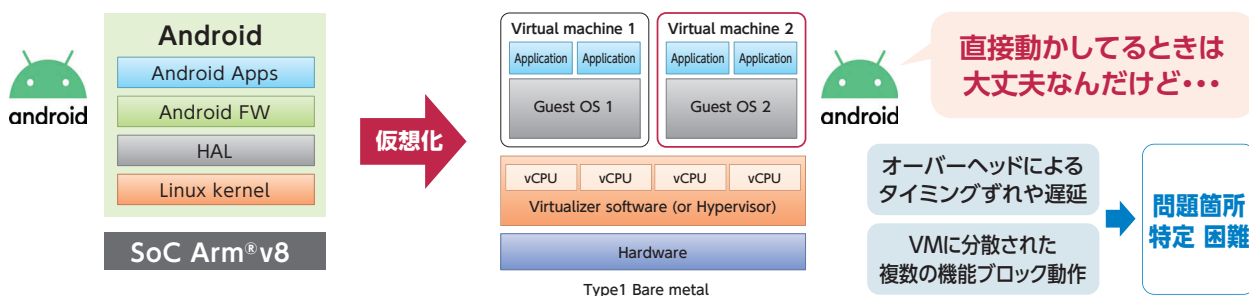
TRQerを活用した データの可視化

動的解析ソリューション



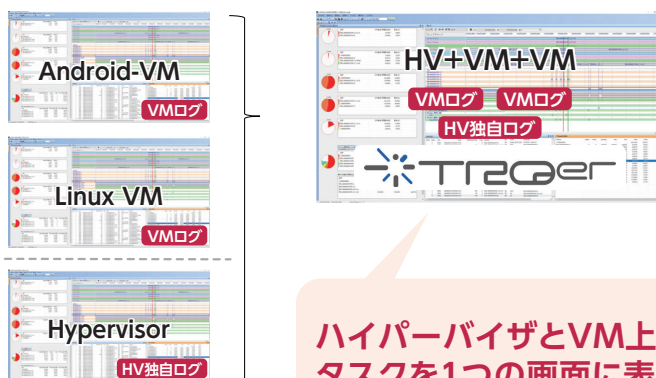
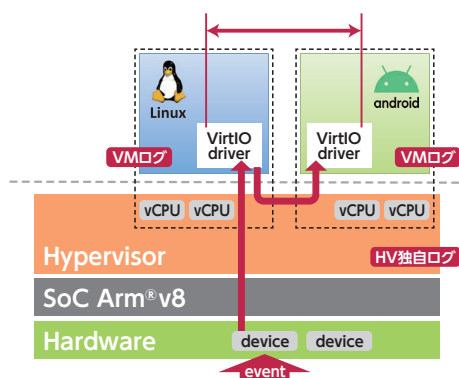
仮想化システムの移行で懸念される課題と解決手法

仮想化によるシステム統合、セキュリティの確保は組込機器においても重要になる一方、システム検証においてNative環境では発生しない問題が懸念されます。



Hypervisor導入システムを効率的に検証!
「問題の見える可」不具合の原因を特定する具体的な方法が必要!

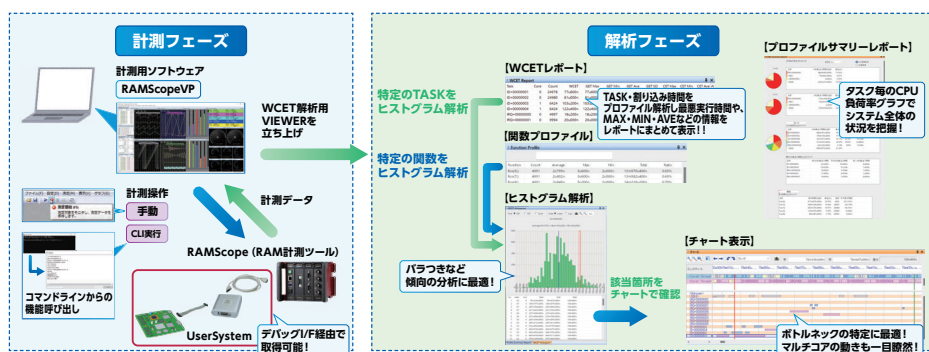
標準仮想化インターフェースを経由した動作を解析
実行時間のバラつきから原因を追究!



VMのロードバランスをvCPUのコア割り当て時間から解析!
プロセス・スレッド、関数の実行時間をVMを跨いでプロファイル!

Android ロボットは、Google が作成および提供している作品から複製または変更したものであり、クリエイティブ・コモンズ表示 3.0 ライセンスに記載された条件に従って使用しています。

RAMScopeを用いた実行時間やCPU処理負荷計測 ソリューション



マイコンの振る舞いに影響を与えず、制御変数・A/D・CANがリアルタイムで同時計測可能なRAMScopeに新機能を追加!
並列に動作する複数の処理(タスク/関数)の実行時間・CPU負荷を分析します。
性能悪化の要因となるクリティカルパスの実行時間解析が可能となります。

実行時間解析

→ タスク・割り込み/関数の状態遷移をチャートに表示 タスクとのレポート表示 (MAX/MIN/AVE)
特定タスク/関数の実行時間のバラつきをヒストグラム表示

CPU使用率解析

→ CPU全体、コアごとのCPU利用率をチャートと連動して表示可能